

令和7年伊賀市議会定例会 令和8年6月定例会月会議 一般質問通告者一覧

【発言予定日 6月15日（月）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
1	福 岡 正 康	1 伊賀市の介護予防の取り組み (1) 健康寿命・介護保険料の推移 (2) 健康寿命を延ばすには (3) 地域福祉の推進で重視すること (4) 地域連携部の取り組み (5) 地域福祉の推進と社会福祉協議会等
2	宮 崎 栄 樹	1 林野火災・枯草火災をどう防ぐか (1) 火災の現状認識と予防の必要性 (2) 野外焼却に関する制度の運用と課題 (3) 市民への周知・啓発の進め方 2 伊賀市の健康づくりの基本的な方針について (1) 高齢者や障がい者の健康づくりの課題認識 (2) 今後の健康づくり施策の方向性 (3) 健康づくりを支える行政の役割 3 条件不利地域における持続可能な地域福祉のあり方について (1) 高尾地区の高齢者介護予防事業の現地視察を踏まえた市長・副市長の 所見を問う (2) 行政の支援の方向性 4 市道川上北野線の進捗状況について (1) これまでの経緯と現在の進捗状況 (2) 今後の整備見通し
3	上 田 宗 久	1 伊賀市の財政力強化に向けて (1) 財政力指数の状況 (2) 財政力指数向上のための施策 (3) 人口減少に対応した公共施設最適化 2 「上野南部丘陵地計画」の進捗度 (1) 三者協定締結（令和4年）の内容とその後の経緯 (2) 立地企業から見た五つのメリット (3) 新産業用地創出の将来にかける期待度

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
4	寺 村 京 子	1 空き家活用と地域資源を活かしたまちづくり (1) 空き家を活かすための課題は何か (2) 歴史的風致を未来へつなぐために (3) 地域資源活用を考える民間への後押しを 2 地域おこし協力隊を活かした地域づくりの推進 (1) 地域おこし協力隊の成果と課題は何か (2) 定住につながる伴走支援を
5	陶 山 美 佐	1 介護人材不足と専門職を守る地域づくり (1) 包括支援センターとケアマネジャー支援について (2) 地域で支え合うしくみ (3) 介護予防 健康推進 2 健康マイレージ事業 (1) 現状確認 (2) 課題分析 (3) 今後の取り組み
6	赤 堀 久 実	1 交通安全のための取組について (1) 交通反則通告制度「青切符」の導入 2 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進について (1) 住宅施策と福祉施策の連携で地域の居住支援体制 (2) 安心して大家が賃貸住宅提供、要配慮者が入居できる市場環境整備 (3) 福祉サービスへのつなぎを行う住宅整備の推進

【発言予定日 6月16日（火）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
7	百 上 真 奈	1 ごみ処理広域化の進捗状況と見通しについて (1) 第6回ごみ処理広域化検討協議会の内容と確認事項 (2) 伊賀市の方針と今後の取組 2 発達特性や障がいのある学齢期の子どもの放課後について (1) 放課後等デイサービスの現状と課題 (2) 放課後児童クラブの現状と課題 (3) 教育と福祉の連携 3 認知症予防と「聴こえ」の支援について (1) 難聴と認知症の関係についての認識 (2) 第10期介護保険事業計画と「聴こえ」の支援事業 (3) 国の交付金活用で「聴こえ」の支援を
8	北山 太加視	1 内水排水対策について (1) 水門操作等について (2) 排水施設の稼働状況について (3) 沈殿した泥、ごみの処分 2 災害時の高齢者の情報収集について (1) テレビのデータ放送「dボタン」の活用
9	大石 亮子	1 獣害対策の推進と地域への伴走支援 (1) 市が目指す獣害対策と農村の姿について (2) アドバイザー就任後の具体的な手法と伴走支援について 2 猛暑時代の夏休みの子どもの居場所について (1) 放課後児童クラブの夏休みの環境改善について (2) 学校施設の活用と地域資源の活用について (3) 夏休み子ども向け事業・居場所情報の可視化と身近な公共施設の活用について (4) 子どもの声を起点にした実態把握・ニーズ調査と今後の検討について 3 学校問題解決における子どもをまんなかにした相談対応・支援体制について (1) 学校問題の複雑化・多様化に対する現状認識について (2) 現在の相談対応体制と教育委員会の役割について (3) 子どもをまんなかにした第三者的・専門的な相談調整機能について (4) 所管を超えて子どもを切れ目なく支える情報共有と伴走支援について

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
10	福 村 教 親	1 旧上野ふれあいプラザの現状とこれから (1) 旧上野ふれあいプラザの現状 (2) デザイン会議の実施状況とあり方 (3) 市民参加のあり方 (4) 市長の方針と財政面について (5) 今後のスケジュール 2 市長としての倫理観と道義的責任 (1) 不倫報道による伊賀市への影響 (2) 市民からの苦情・意見の受け止め・市民、職員へのおもい (3) 自身の倫理観・コンプライアンス (4) 市政運営への影響 (5) 信頼回復と自身の身の処し方
11	北 森 徹	1 市長自ら各住民自治協議会の総会に行かれた感想について (1) 地域住民の活動に対しどう思われたか 2 伊賀市における中学生の居場所について (1) 中学生に対する居場所、学びの支援、食の支援の現状
12	内 原 篤	1 学校体育館空調整備について (1) 近年の暑さによる学校活動への影響 (2) 体育館空調整備の現時点での検討状況 (3) 整備が進みにくい要因と課題 (4) 今後の整備方針 2 医療的支援が必要な児童への対応について (1) 現在の支援体制 (2) 学校現場・保護者負担等の課題 (3) 看護資格者確保の現状と課題 (4) 今後の支援体制と人材確保

【発言予定日 6月17日（水）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
13	西 田 方 計	<p>1 農山村での暮らしと稲作営農を守るために</p> <p>(1) 農作業・出合時の事故・病気を防ぐ健康管理の啓発は</p> <p>(2) 小規模農家の営農を守る方策は</p> <p>(3) 「地域計画」策定に至るための地域支援策は</p> <p>(4) 農業委員会として「地域計画」策定・改定への向き合い方は</p> <p>(5) 農業委員会との対話・意見交換を</p> <p>2 各集落で山林管理を位置づけ、後世に引き継ぐために</p> <p>(1) 各集落の山林管理に関する実態の把握状況は</p> <p>(2) 山林管理のノウハウを持つ人材の確保とネットワークづくり・地域派遣を</p> <p>3 「地域学校協働活動」が社会実装されるために</p> <p>(1) 各学校に係の配置と「地域学校協働本部」充実のための道筋づくりを</p> <p>(2) 「育てたい子供の姿」を学校・地域が共有し、学校教育方針等に反映を</p>
14	森 川 徹	<p>1 プレミアム付き商品券発行の検証と評価</p> <p>(1) 応募総数と購入数</p> <p>(2) 非課税世帯の引き換え状況</p> <p>(3) 参加店舗数</p> <p>(4) 換金方法の是非</p> <p>2 建設業法改正後の技術者配置基準</p> <p>(1) 伊賀市の現状</p> <p>(2) 建設業法との整合性</p> <p>(3) 今後は</p>

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
15	浅川 友和	1 ひとり親家庭と子どもの居場所 (1) 優先配慮導入の経緯と現状 (2) 「安心して申し込める」という視点 (3) 継続的な支援と制度運用 2 学びの多様化と学びの保障 (1) 不登校児童生徒の現状と課題認識 (2) 学びの多様化校と多様な学びの場 (3) 校内教育支援センターの成果 (4) 伊賀市における学びの保障の方向性 3 地域における健康づくりとつながり (1) 健康づくりを取り巻く現状 (2) 地域とのつながりと健康づくり (3) 地域に寄り添う支援のあり方
16	森中 秀哲	1 市民参加による地域公共交通の再構築について (1) 伊賀市が掲げるまちづくりと地域公共交通計画案の方向性 (2) 市民参加による交通再構築をどう進める (3) A I オンデマンド運行・公共ライドシェア等の導入検討 2 公用車の管理体制強化と効率的な運用について (1) 車検切れ事案2年連続発生 of 構造的な原因と対策 (2) 法令遵守、コスト最適化、職員の本来業務集中の同時実現に向けて